

地域医療について

吉野 高史 議員

質問 地域医療を守る中核病院である厚生病院の休診科目の今後の対応についてお尋ねします。

全国の人口10万人当たりの医師数は206・3人となっており、群馬県はほぼ全国平均であります。群馬県は、邑楽郡内と本市をあわせた人口18万4374人に対し

る医師数は平成24年度で200人となっており、全国平均である380・4人の約半分の医師数で多くの患者を診ており、20時間、30時間労働という過酷な労働条件で患者を診ているという医師の話も聞いております。このような状況において、厚生病院で休診してい

る科は、精神科、アレルギー呼吸器科、形成外科、産科となっており、小児科、整形外科、心臓血管外科、婦人科などは、外来のみで入院診療ができない状態にあります。そこで、地域医療を守る厚生病院の診療体制の見直しについて、どのように考えているのか、お伺いします。

特に産婦人科医については、産婦人科と産科従事医師数は全国で人口10万人当たり38・7人となっており、

邑楽郡と本市全体での人口に対して、全国平均では71・3人いてもおかしくはない数値になりますが、邑楽郡と本市に産婦人科医院は1院のみで、医師は1人しかおりません。早急に産婦人科医を呼び込む考えがあるのか、お伺いします。

答 今後も医師の確保や派遣につきましては、辛抱強く、あらゆるルートを使い努力してまいります。全国的な医師の偏在による医師不足の解消は、国の強

いリーダーシップと政策的な大胆な医療改革を実行し、大都市に偏っている医師の現状を解消する手立てが必要であると考えております。出産可能な医療機関は市内に1か所のみで、多くの妊産婦の皆様には、市外の医療機関で出産をしていただいている現状ではあります。が、訴訟リスクの顕在化等の原因もあり、簡単には産科医不足を解消できるものではないこともご理解いただきたいと思っております。

常任委員会の審査報告

総務文教

付託された案件は、議案4件と請願1件で、館林市個人情報保護条例の一部を改正する条例の審査では、委員から、警察からの捜査協力依頼等の際の特定個人情報情報の取り扱いなどについての質疑がなされ、採決の結果は、全員一致をもって、原案のとおり可決すべきも

のと議決いたしました。

館林市立学校給食センター整備運営事業PFI事業者選定審査委員会設置条例の審査では、委員から、PFI方式を選択した理由や、審査委員会委員の選定方法・選定期間などについての質疑がなされ、採決の結果は、賛成多数をもって、原案のとおり可決すべきものと議決いたしました。

館林市青少年問題協議会設置条例の一部を改正する条例の審査では、委員からは、今までの青少年問題協議会にいじめ問題対策連絡協議会としての機能が付加されることによる違いや開催回数を増やす考えなどについての質疑がなされ、採決の結果は、全員一致をもって、原案のとおり可決すべきものと議決いたしました。

館林市いじめ問題調査委員会及び館林市いじめ問題

再調査委員会条例の審査では、委員からは、いじめによる重大事態との判断はどこで誰が行うのか、また、いじめ問題調査委員会と館林市いじめ問題再調査委員会との違いやそれらの連携などについての質疑がなされ、採決の結果は、全員一致をもって、原案のとおり可決すべきものと議決いたしました。

「国際平和支援法」及び「平和安全法制整備法」の廃案を求める意見書の採択

を求める請願の審査では、集団的自衛権行使容認の閣議決定を具現化するための関連法案である「国際平和支援法」及び「平和安全法制整備法」は、憲法の平和理念と立憲主義を破壊する違憲立法なので、これらを廃案とするための意見書の採択を求める本請願の趣旨を踏まえて審査が進められ、採決の結果、賛成少数で不採択すべきものと議決されました。

また、耐震補強された第